

## 平成27年度 入学試験問題

## 国 語

(50分・100点)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

## 注意事項

- ① 監督の指示があるまで中を開けないこと。
- ② 解答は、全て「解答用紙」に記入すること。  
※ 字数制限がある問題は、句読点・記号も字数に含む。
- ③ 質問（印刷不明のところ）がある、鉛筆などを落とした、トイレに行きたくなった、気持ちの悪くなった、などの場合は静かに手をあげること。
- ④ 携帯電話は、音が出ないように電源を切るかバッテリーをはずし、カバンにしまっておくこと。

一次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

山に降った雨は腐葉土にしみこみ、地層をとおり、やがて、きれいで養分をたつぷりとふくんだ水となってながれだし、海にたどりつく。

川は、森と海をつないでいるんだよ。

森の作り出す養分は、森の中にいる生きものたちだけでなく、川をとおって川の生きものたちにも食べものを運ぶ。山の溪流にいるイワナやヤマメにサワガニ、チュウリユウにいるアユやフナやコイなど、川で暮らす生きものたちはみんな【A】のおかげで生きているんだ。

森の養分は、やがて海にたどりつき、海にすむ生きものたちにも届けられる。森から運ばれる腐葉土を、直接食べる魚や貝もいる。また、腐葉土を食べて植物プランクトンがふえ、そのプランクトンをアメエビが食べ、ふえたアメエビをイワシが食べ、イワシをカツオが食べる……、こんな広がりもある。

すべては、森からの養分がはじまりなんだ。

川が森から運ぶのは、鉄分などのミネラルもあるよ。たとえばニシンは、ホンダワラという海藻を食べるけど、ホンダワラが育つには鉄分が欠かせない。その鉄分は、山に降った雨が地下にしみこみ、鉄分をたつぷりふくんだわき水となって川にながれでて、そして海に運ばれてゆくというわけだ。

このように森は、たくさんの養分を川や海の生きものたちにおくっている。

こんな森と川と海の関係は、わたしたち人間が暮らしはじめるずっと

と以前からあったんだ。動物や植物、すべての生きものたちは、そのつながりのなかで生かされてきた。わたしたち人間もまた、森と海のあいだの恵みを借りて暮らしているにすぎない。その恵みを分けてもらいながら、何千年、何万年も生活してきた。

たぶんむかしの人たちは、そのことをよく知っていたんだろうね。水とのつきあいかたは、いまよりもずっとじょうずだし、ていねいだつたように思うんだ。

わたしの小さいころ、家の中に「ながし」という炊事場があった。

その「ながし」に、村の人たちが共同で作った小川から、それぞれのスイロをへて水をみちびいてくる。そこでお米をといだり、野菜を洗ったりした。いまの化学物質のようなものはなかったし、水が汚れることはなかった。水や土の中の小さな生きものたちが、どんどん有機物を分解して、きれいにしてくれた。そして、使ったあとはまた川にもどすんだ。

下流の人たちはその水をまた同じように使う。【B】上流の人は、水を汚すものはながさなかった。下流の人たちのことを考えて、水を汚さないように注意していた。下流の人たちのことを、いつでも思いやって水を使っていた。【C】、ずっと下流にいても、水はどこまでもきれいだった。その水には、魚などもたくさん泳いでいたし、夏になればホタルもいっぱい飛びかかった。

でもいまは、魚もホタルも、ほとんど見つけられないくらい少なくなっている。【D】。

森から海にいたるあいだに、人々の暮らしがある。田んぼや畑があり、工場もある。川には家庭からの生活排水や農業排水、工場排水な

どがながれこむ。

〔中略〕

海の生きものたちにとつても、川の汚れは深刻だ。汚れの原因はなんだらう。どうして汚れてしまうんだらうか。

なんと、川を汚している原因の七十パーセントまでが、わたしたちの毎日の生活から出る生活排水なんだつて。わたしはそれを知つて、<sup>③</sup>でもおどろいた。原因の多くは工場排水だと思つていたからだ。じつは、工場排水による汚れは、きれいにしなすように法律で決められてから、とても少なくなつてきているという。しかし生活排水にはなんの決まりもない。そうだったんだ！ わたしたちの毎日の暮らしが、川を汚している。

わたしたちひとりひとりの使う水の量も、どんどんふえていられるらしい。現在、一人の人間が一日に使う水の平均量はおよそ三百リットル。お風呂一杯分。この量は、三十年前の二倍にあたるという。使うということは汚すということ。つまりわたしたちは、<sup>④</sup>三十年前にくらべて二倍の量の水を汚すようになったということだ。

それでは、生活排水の中の、何が汚れの原因なのだらうか？

いちばん多いのは、油だそうだ。

ここに、五百ミリリットルのペットボトル一本分の食用油があるとす。これを、生きものがすめるほどにするには、どのくらいの水をくわえたらいいと思う？ なんと、三百リットルのお風呂にして三百三十杯分の水が必要なんだつて。つまり、油の量の約二十万倍の水をくわえなければならぬ、ということなんだ。

家庭で使う食用油は、一年間に十万吨も下水にながされていると

いうから、川が汚れ、海が汚れるのもむりはない。ほんとうは食用油は何回でも使えるんだけど、多くの人は天ぷらなどの揚げものに二、三回使うと捨ててしまうというんだ。そのことですごい量の水を汚してしまつていゝなんて、<sup>⑤</sup>たぶん気づいていないんだらうね。

汚れの原因でつぎに多いのは合成洗剤だ。<sup>⑥</sup>

むかしからある「石けん」なら問題は少ないんだけど、石油から作られた合成洗剤は環境への影響が大きい。石けんはナタネ油などの食用油を原料にしているから、ときどきネズミにかじられたりする。わたしもむかしから、ネズミの歯形のついた石けんをよく見てきたけれど、長いことしまつてある合成洗剤の箱がネズミにかじられたという話は聞いたことがない。ネズミは、害のあるものを本能で判断できるんだね。

ある消費者団体の実験で、びつくりする結果が出た。合成洗剤と石けんを同じ割合ずつ水に溶かしてメダカを入れる実験で、合成洗剤を入れたほうは、二十分でメダカがみんな死んでしまつたけど、石けんを入れたほうは二時間たつても一匹も死ななかつたというのだ。

メダカですらそうなのだから、川や海の中でどんどんうすめられたとしても、とても小さい植物プランクトンには、つらくて、影響が大きいと思うんだ。

合成洗剤はわたしたちの暮らしのなかでたくさん使われている。

〔中略〕

わたしたちの日常の生活が、川を汚し海を汚すことになつていゝ、ということだらうか。人間が暮らしているだけで、環境をこわしているということだらうか。それはどうしようもないことなのだらうか。<sup>⑦</sup>

わたしはしばらく考えてみた。うん、やっぱりそうではない。川の汚  
れは、<sup>⑧</sup>いうまでもなく、私たちの暮らし方が作り出したもの。だから  
それは、わたしたちひとりひとりの暮らし方を変えれば、かならずな  
くなるものなんだ。そう思う。

(菅野 芳秀『土はいのちのみなもと 生ゴミはよみがえる』より)

問一 〰〰線部アからオについて、漢字はその読み方をひらがなで、  
カタカナは漢字に直して答えなさい。

問二 空らん【 A 】に入る語を本文中から漢字一字でぬき出しな  
さい。

問三 〰線部①「こんな広がり」とあるが、このような生きもの同  
士の関係を何と呼ぶか。次のアからエの中から最も適切なものを選  
び、記号で答えなさい。

ア 食べる生き物と食べられる生き物との力の関係が階段のように並  
んでいるので「食物階段」と呼ぶ。

イ 食べたり食べられたり、生き物同士がお互いに鎖のように関係し  
あっているので「食物連鎖」と呼ぶ。

ウ 食べる生き物と食べられる生き物はいつでも決まっています一定な  
ので「食物分担」と呼ぶ。

エ 食べたり食べられたり、生き物と生き物の関係がめまぐるしく変  
わるので「食物交代」と呼ぶ。

問四 〰線部②「生かされてきた」とあるが、なぜ「生きてきた」  
ではなく「生かされてきた」なのか。その理由を、次の空らんに入る  
ように本文中から二十五字でぬき出し、最初と最後の五字を答えな

さい。

人間や動物・植物は「二十五字」から。

問五 空らん【 B 】【 C 】に共通して入る語として最も適切な  
ものを次のアからエの中から選び、記号で答えなさい。

ア けれど イ また ウ だから エ そして

問六 空らん【 D 】に入る文を、文章の流れに合うように「川」  
を主語として考えて書きなさい。

問七 〰線部③「とてもおどろいた」とあるが、なぜ筆者はおどろ  
いたのか。その理由を本文中のことばを使って書きなさい。

問八 〰線部④「三十年前にくらべて二倍の量の水を汚すようにな  
った」とあるが、三十年前の人が一日に使う水の平均量はおよそ何  
リットルであったか。本文を参考にして答えなさい。

問九 〰線部⑤「たぶん気づいていないだろうね」の主語にあた  
る語を、本文中からぬき出して答えなさい。

問十 〰線部⑥「合成洗剤」とあるが、私たちは日常生活の中で合  
成洗剤をどのような場面で使っているか。考えて具体例を二つ書き  
なさい。

問十一 〰線部⑦「それはどうしようもないことなのだろうか」と  
あるが、何が「どうしようもないこと」なのか。本文中の語句を用  
いて説明しなさい。

問十二 〰線部⑧「わたしたちひとりひとりの暮らし方を変えれば、  
かならずなくなるものなんだ」とあるが、具体的に何をどのように  
変えればよいか。あなたの日々の暮らしを考え、一つ例をあげて説  
明しなさい。理由もはっきりと書くこと。

## 二次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

バスは混んでいた。

二十年も前のはなしだから、乗物の数も少なく、おまけに乗る人間も冬は厚着であった。家の中も街も今よりずっと寒く、人は「A」の冬支度に着ぶくられて、殺気立って朝晩のラッシュに揺られていた。

その朝も、私は吊革にもブラ下がれず、車の真ん中で左右から人に押されながら、週刊誌を読んでいた。

押しあいへしあいの中で、二つ折りにした週刊誌のページをめくろうとすると、

「あ」

という声をする。

声の主は、黒い学童服を着た小学生低学年らしい男の子で、私の胸のところに押しつけられている。その子は、ちよつと口をあき、訴えるような目で私を見た。週刊誌の向こう側には、漫画が載っていた。彼は、漫画を読み終らないうちにページをめくられたのだ。

私は漫画を少年に見せるようにしてまたしばらく揺られていた。少年の目が漫画の吹きだしのセリフのフブンをゆっくりと追い、声を出して読んでいる。おしまいまで読み終えたところで、少年は目を上げてまた私を見た。

バスが少し空いてきて、少年は次の停留所で降りる気配があった。ところが、定期券を忘れたらしい。ポケットを探ってコマっている。

私が、

「忘れたの？」

とたずねると、怒ったような顔をしてうなずいた。私は、小銭入れ

からバス代を出し（十円だか十五円であったかおぼえていない）少年の手に握らせた。少年は、小銭を握ったまましばらく外を向いて揺られていたが、降りぎわに胸のポケットから赤鉛筆を抜いて黙って私に突き出した。ボール紙をむくと芯の出てる、当時としては珍しいもので、父親か誰かに貰ったのであろう、十センチほどの使いかけであった。

黒革のランドセルを背負った小さい姿が、四谷の並木道を走ってゆくの、私はバスのマドからちらっと見た。

少年の宝物だったに違いない赤鉛筆を、私は大事なものを入れるチョコレートの空箱に仕舞っておいたのだが、いつとはなしにどこかへ行ってしまった。

つい最近、仔犬を連れた少年と顔馴染になった。

七つか八つの男の子で、引っぱっている黒の仔犬が、テリアかなにかの雑種らしいがなんとも可愛い。少年はこの犬が自慢らしく、まあ可愛いと声をかけそうな私の気配を察してか、わざとゆっくり歩いている。はにかみ屋の癖に犬を賞めてもらいたいのだ。

「なんていう名前？」

とたずねると、黒い犬の頭をなでながら小さい声で、

「クンタ」

と教えてくれた。（中略）

アパート住まいで犬は飼えないので、私はよく他人様の犬で憂さばらしをする。この少年とクンタには、それから二、三回出逢い、いまお座りを仕込んであること、クンタはクッキーが好物であることを教

えてもらい、一緒に遊ばせてもらった。

しばらくして、また少年に出逢った。

この日は犬を連れていなかった。「クンタ、大きくなった？」とたずねようとしたら、少年は突然大きな声で、

「ベエー！」

と叫び、舌を出して憎たらしい顔をした。そして小走りに行ってしまった。

犬は死んだのか貰われて行ったのか、いずれにしても少年のところには居ないのである。それから少年を見かけるが、道の端を、ちよつと拗ねた格好で歩いている。

子供を持たなかったことを悔やむのは、こういう時である。

(向田邦子『あ』より)

問一 〰〰線部アからオについて、漢字はその読み方をひらがなで、カタカナは漢字に直して答えなさい。

問二 空らん「A」に入る語として最も適切なものを次のアから

エの中から選び、記号で答えなさい。

ア おだやかな色 イ 明るい色 ウ 暗い色 エ まぶしい色

問三 〰線部①「二つ折りにした週刊誌」とあるが、なぜ「私」は週刊誌を「二つ折りにしているのか。説明しなさい。

問四 〰線部②「その子は、ちよつと口をあき、訴えるような目で私を見た」という少年の動作は、私に何をしてほしいと思つてのものか。本文中のことばを用いて説明しなさい。

問五 〰線部③「小銭を握ったまましばらく外を向いて揺られてい

た」とあるが、この少年の動作から読み取れる少年の気持ちとして適切でないものを次のアからエの中から選び、記号で答えなさい。

ア てれくささ イ 怒り ウ とまどい エ きまりのわるさ

問六 〰線部④「いつとはなしにどこかへいつてしまった」とあるが、この一文はどのような効果を本文に与えているか。最も適切なものを次のアからエの中から選び、記号で答えなさい。

ア いつのまにか長い時間が経っていたことを示す。

イ 私が間のぬけた性格であったことを示す。

ウ 実際にあつた話なのか夢の中だったのかをあいまいにしている。

エ 少年にとっては宝物でも、私にとってはそうではなかったことを示す。

問七 〰線部⑤「はにかみ屋」とあるが、どのような意味か。本文を参考にしてその意味を考えて書きなさい。

問八 〰線部⑥「一緒に遊ばせてもらった」とあるが、「私」はそうすることを自分で何と呼んでいるか。本文中より五字で抜き出しなさい。

問九 〰線部⑦「少年は突然大きな声で……憎たらしい顔をした」とあるが、なぜこのような動作をとったのか。少年の気持ちを考え、理由とともに説明しなさい。

問十 本文には二人の少年が登場する。この二人の少年に共通するものは何か。本文をよく読んで答えなさい。



